

## 第7章

# 文化財の防災 ・防火・防犯に 関する方針と措置

# 第1節 防災に関する課題と方針

## 1 防災に関する現状と課題

亀岡市で懸念すべき自然災害は、「第1章第1節社会的状況」の「5災害」で示される通り、大雨に伴う保津川氾濫による浸水・土砂災害及び地震災害です。

これら自然災害については、亀岡市自治防災課によって亀岡市地域防災計画が策定されており、各地域における「洪水浸水深」や「土砂災害警戒区域等」が示されています。

文化財の保存・活用にあたっては、文化財の所在地を把握したうえで「亀岡市洪水ハザードマップ」等と重ねて被害にあうことが想定されるものについて、所有者と平時から対策に関する情報共有・連携を図っておく必要があります。

また、最近では地震も増加しており、地震に起因する土砂崩れや建造物の倒壊にも注意する必要があります。

## 2 防災に関する方針と措置

### (1) 方針

自然災害の対策として、文化財の所在地を把握し、文化財所有者と平時より連携をとることが重要と考えます。したがって、文化財所在把握を進めて文化財所在マップを作成するとともに、これを専門家・学芸員（職員）間、消防団ならびに災害区域にある文化財所有者と平時より連携・情報共有につとめ、対策を考えます。

### (2) 措置（再掲）

No.	措置の名称	内容	主体	主な経費
⑭	文化財所在地の把握と災害の情報共有	文化財防災マップを作成するとともに南丹エリア文化財防災会議を実施する。	文化財部局 地域住民	市費

#### ○南丹エリア文化財防災会議

想定される構成員

- ・京都中部広域消防組合
- ・亀岡市・南丹市・京丹波町仏教会会長
- ・亀岡市・南丹市・京丹波町神社総代会会長
- ・重要文化財建造物所有者
- ・南丹市 文化財部局／防災部局
- ・京丹波町 文化財部局／防災部局
- ・亀岡市 文化財部局
- ・亀岡市 防災部局

**事務局** 亀岡市・南丹市・京丹波町の文化財部局が輪番で幹事を担当。

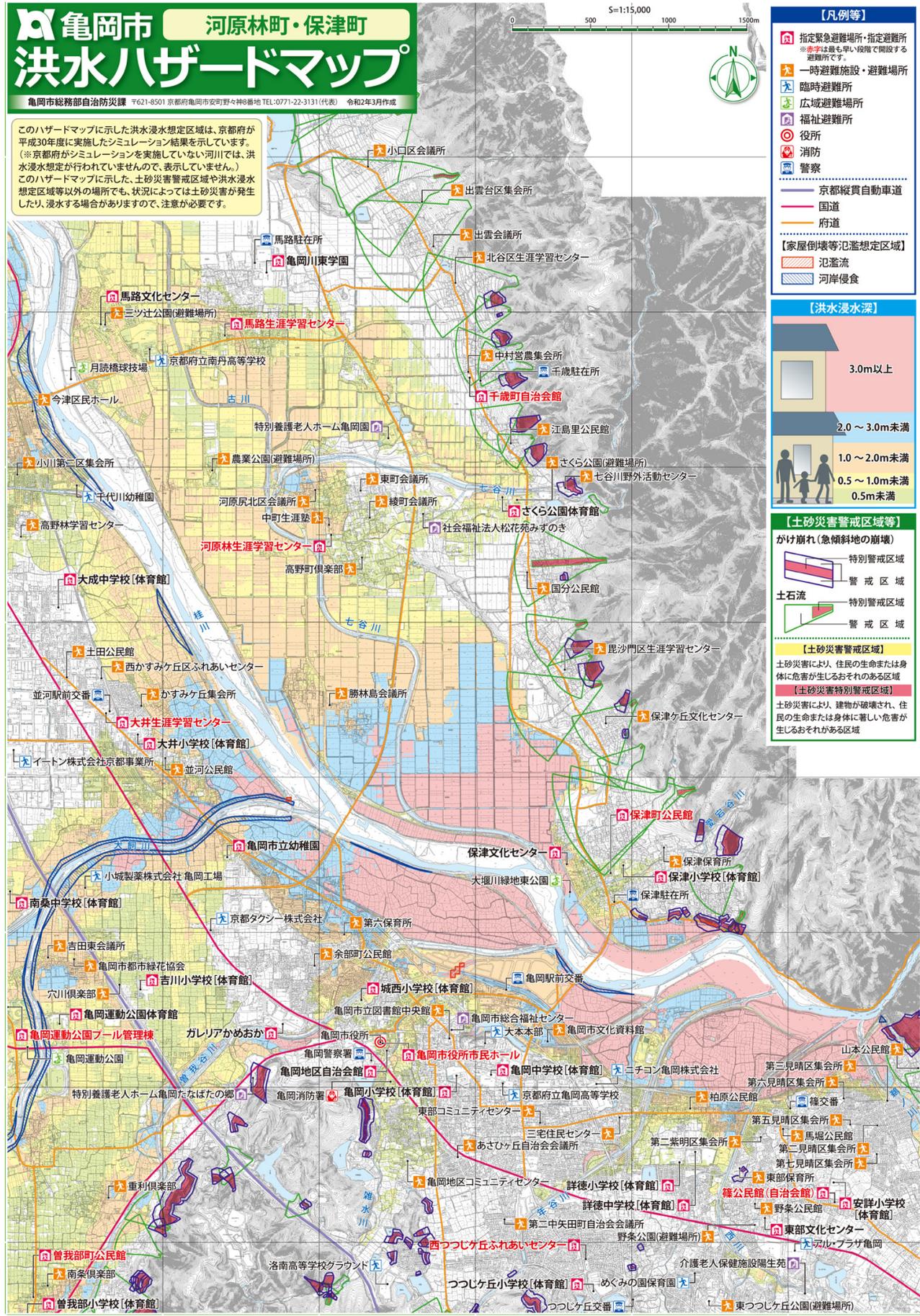


図 29 亀岡市洪水ハザードマップ

## 第2節 防火に関する課題と方針

### 1 防火に関する現状と課題

亀岡市において併せて懸念すべき問題は、建造物等の火災です。

市内において近年文化財の火災等は報告されていないものの、建物火災は例年確認されており、歴史的な木造建築が多く分布する亀岡市においても平時より防火対策を徹底しておくことが必要です。

亀岡市では、1月26日の文化財防火デーに合わせて、京都中部広域消防組合が文化財の見回りと啓発活動を進めており、文化財部局もこれに同行し、防火設備の点検と防火活動の普及啓発を進めているところです。今後もこうした活動を継続していく必要があります。

### 2 防火に関する方針と措置

#### (1) 方針

##### ① 亀岡市文化資料館の防火対策について

亀岡市文化資料館については、京都府指定文化財等を保管していることから、令和元年(2019)12月23日文部科学大臣決定「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」(令和2～6年)および「国宝・重要文化財(美術工芸品)を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」(令和元年9月2日公表、12月23日改訂)に基づく点検結果等をふまえ、対応プランを作成することとします。

##### ② 重要文化財(建造物)及び史跡丹波国分寺跡の防火対策について

亀岡市には、遠山家住宅など重要文化財の建造物が7件あります。また国指定史跡は、丹波国分寺跡と千歳車塚古墳の2件がありますが、史跡丹波国分寺跡には、江戸時代中期に再興された際に築造された本堂・鐘楼・山門があります。

これらについては、令和元年(2019)12月23日文部科学大臣決定「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」(令和2～6年)および「国宝・重要文化財(建造物)等の防火対策ガイドライン」(令和元年9月2日公表、12月23日改訂)に基づく検討結果等に準じて、防火対策を講じることとします。

##### ③ その他文化財の防火対策

令和元年(2019)12月23日文部科学大臣決定「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」を勘案し、各文化財に応じた防火対策を講じます。

## (2) 措置（再掲）

No.	措置の名称	内容	主体	主な経費
⑮	文化財の防火・防犯対策の推進	文化庁の規定する防火対策整備の推進、文化財保護指導員や地域と連携した防犯対策の推進	文化財部局 関係団体	市費 府費 国費

・「世界遺産・国宝等における防火対策5ヵ年計画」に定める建造物・博物館等の重点整備内容

- ①経年劣化による機能低下や毀損・不具合がある防火設備の整備等
- ②火災の早期覚知のための警報設備等の充実
- ③初期消火対策、延焼防止対策の充実
- ④文化財の特性等に応じた適切な防火設備の整備等
- ⑤管理体制に応じ、夜間などを含め常時円滑な消火活動を行うための防火設備の整備等

## 第3節 防犯に関する課題と方針

### 1 防犯に関する現状と課題

少子高齢化により、亀岡市内でも宮司や住職が常駐していない、いわゆる「無住」の神社やお寺が増加しています。こうした神社やお寺では、地元の氏子総代や寺総代、あるいは区や自治会によって文化財が管理されていますが、防犯対策が課題となっています。

### 2 防犯に関する方針と措置

#### (1) 方針

「無住」の神社、お寺が増加していることをうけ、現状管理を担っている氏子惣代や寺惣代、区や自治会と連携して防犯対策を進めていきます。

具体的には、

①文化財の所在把握を進めたうえで、②指定登録文化財については補助金事業を活用して防犯設備を整備し、③合わせて見回りを強化し防犯対策を進めます。

#### (2) 措置（再掲）

No.	措置	内容	主体	主な経費
⑨	文化財指定登録と修理等の推進	国・京都府と連携した市内文化財の指定登録及び修理・防犯事業の推進	◎地域住民 ◎文化財部局 関係団体	市費 府費 国費
⑫	文化財の防火・防犯対策の推進	文化庁の規定する防火対策計画の推進、文化財保護指導員や地域と連携した防犯対策の推進	◎文化財部局 ◎関係団体	市費 府費 国費